

平成21年政策評価報告書

担当部署	生活安全部生活安全企画課、生活環境課、地域課
------	------------------------

1 重点目標

犯罪抑止のための総合的な対策の推進

2 目指す方向

平成21年推進・評価計画表のとおり

3 達成目標・評価方法

平成21年推進・評価計画表のとおり

4 施策の内容と評価結果

施策の内容	前年の課題等を踏まえた取組施策の評価結果 (◎効果 ☆特筆事項 ●今後の課題)					
総合評価	区 分	H17	H18	H19	H20	H21
	刑法犯認知件数	7,382件	6,838件	6,261件	6,005件	5,845件 (前年対比-160件、-2.7%)
	振り込め詐欺認知件数	182件	135件	98件	68件	32件 (前年対比-36件、-53%)
	◎ 刑法犯認知件数は、5,845件で目標を達成した。 ◎ 振り込め詐欺被害は32件で、前年の68件に対し半減した。 ● 今後も、犯罪発生状況に基づいた分析、防犯ボランティア団体への支援等により、効果的な抑止対策を継続する必要がある。 ● 振り込め詐欺手口の分析による広報等、振り込め詐欺被害防止対策が必要である。					
① パトロールの強化等による街頭犯罪の抑止と検挙	◎ 犯罪発生状況の分析に基づくパトロールにより自転車盗被害が減少(1,024件、前年対比-130件)した。 ☆ 地域警察官の街頭活動の強化とともに、「地域安全パトロール隊」(緊急雇用創出事業)と連携したパトロール活動等を実施した。					
						【地域安全パトロール隊活動状況】

② 高齢者等被害に遭いやすい振り込め詐欺の抑止と検挙

◎ 振り込め詐欺被害は、前年に比べ減少（32件、前年対比－36件）した。

☆ 鳥取県警察パトロール劇団による被害防止寸劇など、高齢者等者に分かりやすい広報啓発活動に努めた。



【鳥取県警察パトロール劇団の状況】

③ 自治体、関係機関・団体、ボランティア等との連携と積極的な協働

区 分	H17	H18	H19	H20	H21
防犯ボランティア団体数	138団体	175団体	193団体	194団体	199団体（前年対比＋5団体、＋2.5％）

（注）団体数は県警察が把握した数（平成21年12月末現在）

◎ 「地域安全フォーラム'09」を開催するなど、防犯ボランティア団体の活性化を図った。

☆ 防犯ボランティア団体等とのネットワークの拡充、警察ホームページ等の各種広報媒体を活用した情報発信及び合同パトロールや研修会を開催した。



【ボランティアによる特別講演】

④ 犯罪抑止に有効な情報発信活動の推進

◎ 警察ホームページ、交番（駐在所）広報紙、ミニケーブルテレビ等の各種広報媒体を活用し、情報発信活動を実施した。

☆ 地域警察官の街頭活動時における声かけ等によるタイムリーな情報発信活動に努めた。



【広報チラシ】

<p>⑤ 子どもと女性の安全・安心対策の推進</p>	<p>◎ 子どもと女性の安全対策係を設置し、性犯罪の前兆とみられる声かけやつきまとい等に対し、検挙又は指導・警告措置を講ずる活動を実施した。</p> <p>☆ 県教育委員会等の「情報ネットワーク」により、声かけ、不審者情報等を発信するとともに、警察本部ホームページに掲載し、注意喚起を呼びかけた。</p> <p>● 子どもと女性の安全対策を更に推進するため、県教育委員会等と連携した情報の共有を推進する。</p>		
<p>⑥ 暴力団が関与する等悪質な事犯に重点を置いたヤミ金融事犯の取締りの推進</p>	<p>◎ 悪質な取立てに対する警告、金融機関等に対する預貯金口座の凍結依頼、携帯電話不正利用防止法に基づく利用停止制度の運用を行った。</p> <p>☆ 暴力団関係者等に対する貸金業法違反事件（無登録）・出資法違反事件（高金利）を検挙した。</p> <p>● 警察・監督官庁等で構成する多重債務・ヤミ金融問題等対策協議会を通じ、関係機関・団体との連携及び取締りを行う。</p>		<p>【安全・安心ステーションステッカー】</p>
<p>⑦ 関係行政機関との情報共有化による食の安全・安心に係わる事犯の取締りの推進</p>	<p>◎ 鳥取県食品表示監視協議会に出席し、関係機関と関連情報の共有を図った。</p> <p>● 食品の産地等偽装表示事犯等に対する関連情報の共有を図り、取締りを行う必要がある。</p>		